

科目	基礎看護学実習 I				
時間数	1 単位 40 時間	授業方法	実習	授業時期	1 年
実習場所	十全総合病院 (療養病棟・地域包括ケア病棟・一般病棟)				
ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病院という療養の場を知り、療養している人や家族とのコミュニケーションを通してかかわり方を学ぶ。 2. 医療現場で働く医療チームの活動の実際を見て、看護師を目指す人としての態度を習得する。 3. 既習の技術を用いて生活行動の援助を行い、振り返りをとおして評価ができる。 				
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の全体像を捉える視点や方法を理解することができる。 2. 対象の情報をもとに、対象に応じた援助計画を立案・実施することができる。 3. 実施した援助から考え、評価（課題を含む）することができる。 4. 自己の振り返りができる。 				
授業計画					
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病院の概要 2. 事前学習を活かして、健康レベルの把握や様々な情報源から情報収集を行う。 3. 看護技術を適切に実践するための要素をもとに、実施の留意点を確認する。 4. 計画に基づいて、生活行動援助が実施できる。 5. 客観的な事実を挙げて、目標の評価をする。 6. 評価の指標となる行動・態度を参考に、実習を通して自己を客観的に振り返る。 				
評価方法	基礎看護学実習 I 評価表、実習適性・態度評価表を総合して評価する				

科目	基礎看護学実習 II				
時間数	2 単位 80 時間	授業方法	実習	授業時期	1 年
実習場所	十全総合病院 (療養病棟・地域包括ケア病棟・一般病棟)				
ねらい	既習の看護技術(基本的技術・日常生活行動援助技術)を用いて、対象に応じた看護を展開することができる。				
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程を実際に展開し、問題解決過程のプロセスを理解することができる。 2. 計画した援助を、安全・安楽に留意して実施することができる。 3. 実施した援助を振り返って評価し、次に生かすことができる。 4. 実習をとおして、自己の振り返りができる。 				
授業計画					
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報収集を行い、情報の整理・分析、問題を明確化する。 2. 事前学習を活かして、看護計画を立案する。(看護計画表) 3. 対象に応じた留意点を確認し、生活行動援助を実施、客観的な事実を挙げて評価する。 4. 看護チームの一員として、報告・連絡・相談しながら行動する。 5. 評価の指標となる行動・態度を参考に、自己を客観的に振り返る。 				
評価方法	基礎看護学実習 II 評価表、実習適性・態度評価表を総合して評価する				